

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	山ノ内町で観光地インターンシップを活用したUIJターン就職支援事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人観光教育・インターンシップセンター 090-9362-8776
事業区分	産業振興、雇用拡大 教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,560,000円 (うち支援金 1,248,000円)

事業内容

山ノ内町の各宿泊施設でインターンシップを行うと同時に、観光学や宿泊業に関する授業やフィールドワークを開催した。

参加宿泊施設

グランフェニックス奥志賀、ジャパン志賀、御宿炭乃湯、金具屋、かどや、いかりや、小石屋、ますや、ホテル椿野、古久屋。北志賀竜王、よろづや、あぶらや燈千、アスペン志賀、塵表閣本店、はくら、BYAKU(塩尻市)、明神館(松本市)、秋山郷雄川閣(栄村)

参加講師：立教大学、高崎経済大学、京都外国語大学、淑徳大学、森宮交通、北志賀竜王、各スキーインストラクター

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

インターンシップ参加者 117名

参加学校 (立教大学、相模女子大学、城西国際大学、東洋大学、淑徳大学、長野県立大学、松本大学、立命館大学、京都外国語大学、清泉女子大学、日本女子大学、長野ビジネス外語カレッジ、エコール辻東京)

令和4年4月から就職：3名(正社員)

長期インターンシップ(夏休み後に従業員として旅館に残る):1名

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

学生、参加事業者、学生を送り出した大学からの評価は高く、継続的に行うことでプログラムの高度化ができると考えている。来年度に関しては大学から正規の授業としてこの事業に参加したいと申し込みが来ており、観光系の学部の大学生が研修をする場所として山ノ内町が選ばれるような環境が整いつつある。今後は「観光系インターンシップの聖地」として山ノ内町が選ばれるよう引き続き活動していく予定である。さらに学生がインターンシップを通して長野県の観光に興味を持ち就職につながるまでフォローできる体制を各地域と協力し確立していきたいと考えている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(活動)



【旅館で研修する学生】

【目標・ねらい】

- ①観光に興味を持ってもらう
- ②観光関連産業への就業機運醸成
- ③長野県の魅力発信
- ④長野県の宿泊施設紹介

※自己評価【 B 】

【理由】内容は密度が濃く学生の満足度も高かった。採用活動で悩む各事業者が学生と直接接点を持つ機会となったため、参加宿泊施設からも継続的な開催を求める声が多かった。書類提出が遅れているのでBでした